

## 2023年9月市会 一般会計補正予算 賛成討論

くまざわ真昭（左京区）

公明党京都市会議員団は、議第106号「令和5年度京都市一般会計補正予算」ほか、9月市会に提案された補正予算に関する議案に賛成の立場を表明しておりますので、その理由を述べ、討論を行います。

昨年から実施されてきたガソリン等の燃油代、電気代、ガス代を対象とした国の価格高騰の激変緩和措置は、本年9月に期限を迎えるところ、昨今の原油価格高騰を踏まえ、年末までの延長及び補助額の見直しが行われることになりました。

しかしながら、食料品等の引き上げや来春の賃上げに向けた原資確保等にも苦慮されている状況にあります。このような状況下にあつて9月13日、私たち公明党京都市会議員団は、3度目となる「物価高から市民生活を守る施策の実施を求める要望」を6点にわたり門川市長へ提出しました。

今市会に提案された補正予算は私たち議員団の要望が大きく反映され、困難に直面されている方々のいのちと暮らし、生業を守るための支援を行うものとなっています。これが賛成の大きな理由です。

また、国の臨時交付金を活用し、「物価高騰対策」「コロナ禍からの回復への対応」「中小企業成長支援」「観光の課題への対応」に充てた予算編成も大きく評価しております。将来の健全な財政運営のために、懸案であった公債償還基金取り崩しに黒字分から35億を返済にあてた点も極めて重要であり評価します。以下、これらの事業を進めていく上での要望について申し述べます。

人口減少対策が急務の中、洛西ニュータウンで実施される既存住宅の流通促進事業が成功を収め、全市展開され、市内で不足する若者・子育て世帯の居住環境の創出に大きく貢献するものとなるよう期待します。

教職員の確保については、今後、子どもたちにとって最大の教育環境である教員に欠員が生じることがないように、さらなる対策をお願いいたします。

コロナ禍における芸術家を支援する「Arts Aid KYOTO」は、着実に実績を積みとともに、更に支援の拡充を図るもので評価致します。芸術家を社会全体で支援する機運の醸成、国内外の芸術家が京都を目指す環境づくりに繋げていただくことが重要です。

中小事業者の高効率機器導入促進事業については、事業者にとっては大変に関心が高く、京都市地球温暖化対策条例にも資する事業であり、着実な執行とともに次年度に向けても鋭意取組を進めて頂く様、要望しておきます。

さらに、京都経済を支える中小企業や観光産業、商店街や伝統産業、農業者への支援等は、まったなしの状況となっています。事業実施にあたっては、速やかに且つ丁寧に、必要なところへ確実に届くように実施されることを強く望みます。

一方で、京都の観光が回復する中、観光旅行者のモラル・マナーの啓発は大変重要です。市民生活への影響を最大限考慮した、持続可能な観光の推進のための新たな「京都観光モラル」や「旅マエ」「旅ナカ」の取り組みを、すべての旅行者及び旅行業者に周知徹底されることも強く求めておきます。

様々に要望を申し上げましたが、最後に、私たち公明党京都市会議員団はこれからもコロナ禍や物価高騰などの難局に対して未来に責任を持つ政党として、ネットワーク力を生かし、引き続き市民生活を守り抜くために全力で働くことをお誓いし、賛成討論とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。